

* 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
設定日	2009年12月1日	
信託期間	信託設定日（2009年12月1日）から2019年8月26日まで	
運用方針	この投資信託は、マザーファンドへの投資を通じて、信用力の高い短期公社債等に投資を行い、安定した収益の確保を目的として、運用を行うことを基本とします。	
主な投資対象	UBS 短期 円金利マザー ファンド	わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を主たる投資対象とします。
主な投資制限	①株式（新株引受権証券および新株予約権証券）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以内とします。 ②外貨建資産への投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（原則として毎年2月25日および8月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の、繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、上記①の範囲内で、委託者が市況動向等を勘案します。ただし、委託者の判断で、分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益の運用については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

UBS グローバル公共公益債券ファンド （通貨選択シリーズ）マネープール

第19期 運用報告書（全体版）
決算日 2019年2月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBSグローバル公共公益債券ファンド（通貨選択シリーズ）マネープール」は、去る2月25日に第19期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部
03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2019. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

*** 最近5期の運用実績 ***

決算期	基準価額			債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	税込分配金	期騰落	中率			
	円	円	%	%	%	百万円
15期（2017年2月27日）	10,030	0	△0.0	—	—	3
16期（2017年8月25日）	10,025	0	△0.0	—	—	3
17期（2018年2月26日）	10,020	0	△0.0	—	—	3
18期（2018年8月27日）	10,016	0	△0.0	—	—	3
19期（2019年2月25日）	10,012	0	△0.0	—	—	3

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物率は買建比率－売建比率。

(注4) ファンドの商品性に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はありません。

(注5) 債券組入率は、当ファンドの追加・解約等により、一時的に50%以下の数値となる場合があります。（以下同じ）

*** 当期中の基準価額等の推移 ***

年月日	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比
	騰落	率		
(期首) 2018年8月27日	円	%	%	%
8月末	10,016	0.0	—	—
9月末	10,015	△0.0	—	—
10月末	10,015	△0.0	—	—
11月末	10,014	△0.0	—	—
12月末	10,013	△0.0	—	—
2019年1月末	10,013	△0.0	—	—
(期末) 2019年2月25日	10,012	△0.0	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

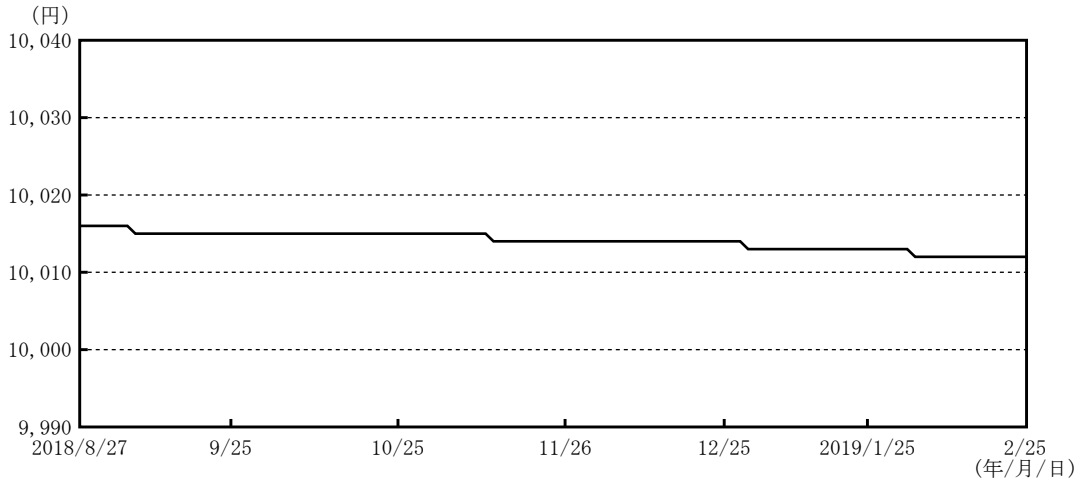
(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物率は買建比率－売建比率。

(注5) ファンドの商品性に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はありません。

* 当期の運用状況 *

＜当期の基準価額の推移＞
（2018年8月27日～2019年2月25日）



■基準価額は4円値下がりしました。なお、基準価額の騰落率は-0.0%となりました。

投資環境について

■当期の短期金融市場では、有担保コール翌日物金利の利回りは、マイナス圏での推移となりました。

運用経過

＜当ファンドのポートフォリオについて＞

■当ファンドは、期を通じて、UBS短期円金利マザーファンドを高位に組入れ、利息等収入の確保を目指しました。

＜マザーファンドのポートフォリオについて＞

■当ファンドは、わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を主たる投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

＜基準価額の主な変動要因＞

■基準価額は、実質的に組入れていたコール・ローン等のマイナス金利にかかるコストなどのマイナス要因により下落しました。

＜ベンチマークとの差異について＞

■当ファンドの商品性に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はありません。

分配金について

■当期については、市況動向等を勘案し分配は行いませんでした。分配にあてなかつた利益については、運用の基本方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項目	第19期
	2018年8月28日～2019年2月25日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	（－％）
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	97円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境の見通し>

■国内の消費者のインフレ期待は依然として低い状況にあり、日銀の目標値である2%を大幅に下回っている状況を勘案すると、日銀は現状の金融政策を継続するものと考えられ、引き続き、短期金利はマイナス圏での推移が続くものとみられます。

<当ファンドの今後の運用方針>

■当ファンドは、引き続き、UBS短期円金利マザーファンドの受益証券を高位に組入れ、利息等収入の確保を目指す方針です。

<マザーファンドの今後の運用方針>

■引き続き、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	当期 2018/8/28~2019/2/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	0円	0.002%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は10,014円です。
（投信会社）	(0)	(0.001)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の 情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.001)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
合計	0	0.002	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

* 親投資信託受益証券の設定、解約状況 *（自 2018年8月28日 至 2019年2月25日）

該当事項はありません。

* 利害関係人等との取引状況等 *（自 2018年8月28日 至 2019年2月25日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

* 自社による当ファンドの設定・解約状況 *（自 2018年8月28日 至 2019年2月25日）

期首残高 (元本)	当期設定 本元	当期解約 本元	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 0.1	百万円 —	百万円 —	百万円 0.1	投資信託の当初設定時における取得・処分

* 組入資産明細表 *

親投資信託残高

(2019年2月25日現在)

項目	期首	当期		期末
	口数	口数	評価額	口数
UBS短期円金利マザーファンド	千口 3,077	千口 3,077	千円 3,081	千円 3,081

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

〈参考情報〉

2019年2月25日現在、UBS短期円金利マザーファンドにおける有価証券等の組入れはありません。

* 投資信託財産の構成 *

(2019年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
U B S 短 期 円 金 利 マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 3,081	% 90.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	315	9.3
投 資 信 託 財 産 総 額	3,396	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2019年2月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,396,298円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	314,567
U B S 短 期 円 金 利 マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	3,081,731
(B) 負 債	9
未 払 信 託 報 酬	9
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	3,396,289
元 本	3,392,323
次 期 繰 越 損 益 金	3,966
(D) 受 益 権 総 口 数	3,392,323口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,012円

[元本増減]

期首元本額	3,392,323円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	0円
1口当たり純資産額	1.0012円

* 損益の状況 *

(自2018年8月28日 至2019年2月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 37円
支 払 利 息	△ 37
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,538
売 買 損 益	△ 1,538
(C) 信 託 報 酬 等	△ 9
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 1,584
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 3,963
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,513
(配 当 等 相 当 額)	(14,986)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,473)
(G) 計 (D + E + F)	3,966
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	3,966
追 加 信 託 差 損 益 金	9,513
(配 当 等 相 当 額)	(14,986)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,473)
分 配 準 備 積 立 金	18,109
繰 越 損 益 金	△ 23,656

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(14,986円)および分配準備積立金(18,109円)より分配対象収益は33,095円(10,000口当たり97円)ですが、分配を行っておりません。

UBS短期円金利マザーファンド

第9期（2018年8月27日決算）

（計算期間：2017年8月26日～2018年8月27日）

《運用報告書》

受益者のみなさまへ

「UBS短期円金利マザーファンド」は、UBSグローバル公共公益債券ファンド（通貨選択シリーズ）マネープールが投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ここにマザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	円短期金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を主たる投資対象とします。
投資制限	・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以内とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー

〈お問い合わせ先〉

投信営業部

03-5293-3700

〈受付時間〉

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

* 最近5期の運用実績 *

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
			比	比	
5期(2014年8月25日)	円 10,037	% 0.0	% 65.7	% —	百万円 15
6期(2015年8月25日)	10,039	0.0	—	—	15
7期(2016年8月25日)	10,037	△0.0	—	—	3
8期(2017年8月25日)	10,027	△0.1	—	—	3
9期(2018年8月27日)	10,018	△0.1	—	—	3

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

* 当期中の基準価額等の推移 *

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2017年 8月25日	円 10,027	% —	% —	% —
8月末	10,027	0.0	—	—
9月末	10,026	△0.0	—	—
10月末	10,025	△0.0	—	—
11月末	10,025	△0.0	—	—
12月末	10,024	△0.0	—	—
2018年 1月末	10,023	△0.0	—	—
2月末	10,022	△0.0	—	—
3月末	10,022	△0.0	—	—
4月末	10,021	△0.1	—	—
5月末	10,020	△0.1	—	—
6月末	10,019	△0.1	—	—
7月末	10,018	△0.1	—	—
(期 末) 2018年 8月27日	10,018	△0.1	—	—

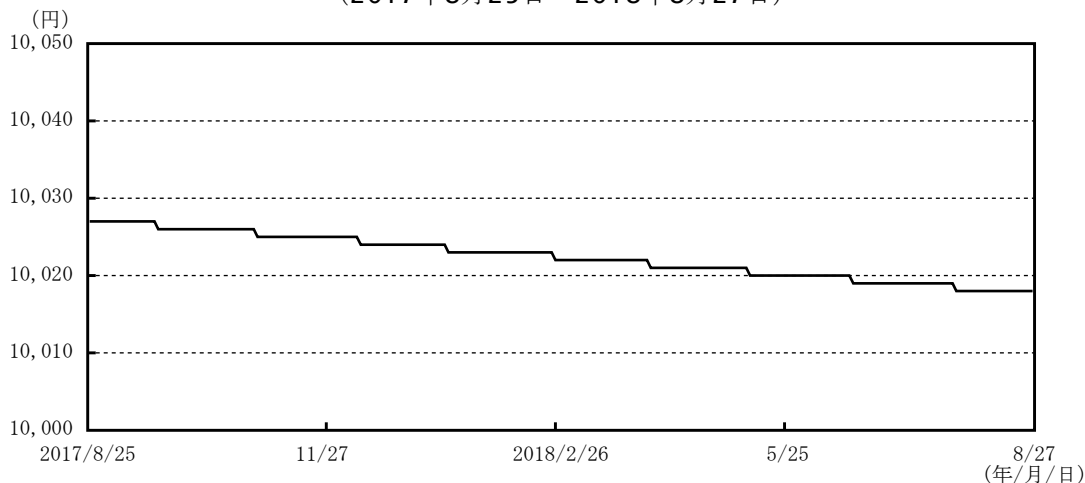
(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

* 当期の運用状況 *

＜当期の基準価額の推移＞
 (2017年8月25日～2018年8月27日)



■基準価額は9円値下がりしました。なお、基準価額の騰落率は-0.1%となりました。

投資環境について

■当期の短期金融市場では、有担保コール翌日物金利の利回りは、マイナス圏での推移となりました。

運用経過

＜当ファンドのポートフォリオについて＞

■わが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を主たる投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、コール・ローン等での運用を行いました。

＜基準価額の主な変動要因＞

■基準価額は、実質的に組入れていたコール・ローン等のマイナス金利にかかるコストなどのマイナス要因により下落しました。

今後の運用方針

＜投資環境の見通し＞

■国内の消費者のインフレ期待は依然として低い状況にあり、日銀の目標値である2%を大幅に下回っている状況を勘案すると、日銀は現状の金融政策を継続するものと考えられ、引き続き、短期金利はマイナス圏での推移が続くものとみられます。

＜当ファンドの今後の運用方針＞

■引き続き、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

*** 1万口当たりの費用明細 ***

該当事項はありません。

*** 期中の売買および取引の状況 *** (自 2017年8月26日 至 2018年8月27日)

該当事項はありません。

*** 主要な売買銘柄 *** (自 2017年8月26日 至 2018年8月27日)

該当事項はありません。

*** 利害関係人等との取引状況等 *** (自 2017年8月26日 至 2018年8月27日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

*** 組入資産明細表 *** (2018年8月27日現在)

期中における有価証券等の組入れはありません。

* 投資信託財産の構成 *

(2018年8月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 3,498	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	3,498	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2018年8月27日現在)

* 損益の状況 *

(自2017年8月26日 至2018年8月27日)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,498,189円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,498,189
(B) 負 債	9
未 払 利 息	9
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	3,498,180
元 本	3,491,996
次 期 繰 越 損 益 金	6,184
(D) 受 益 権 総 口 数	3,491,996口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,018円

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△3,312円
支 払 利 息	△3,312
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△3,312
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	9,496
(D) 計 (B+C)	6,184
次 期 繰 越 損 益 金 (D)	6,184

[元本増減]

期首元本額	3,491,996円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	0円
1口当たり純資産額	1.0018円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBSグローバル公共公益債券ファンド (通貨選択シリーズ) 円コース<毎月分配型>	312,084円
UBSグローバル公共公益債券ファンド (通貨選択シリーズ) 豪ドルコース<毎月分配型>	54,707円
UBSグローバル公共公益債券ファンド (通貨選択シリーズ) ブラジルリアルコース<毎月分配型>	42,017円
UBSグローバル公共公益債券ファンド (通貨選択シリーズ) 南アフリカランドコース<毎月分配型>	5,458円
UBSグローバル公共公益債券ファンド (通貨選択シリーズ) マネープール	3,077,730円